

ISO9001 の業種別サンプル品質マニュアルと 汎用サンプル品質マニュアルの違いとは？

ISO9001 では品質マニュアルを作らないといけないことになっています。
その品質マニュアルに書いている内容は、組織によって大きく異なります。
例えば文書を配付する場合は次の方法があります。

- a. 紙媒体の文書を配付する方法
- b. パソコンLANを使って閲覧させる方法

記録の保管も大きく分けると次の 2 つの方法があります。

- a. 紙媒体で保管する。
- b. 電子媒体でサーバに保管する。

人材育成の仕組みも様々あります。

業種別サンプル品質マニュアルと汎用サンプル品質マニュアルともコンパクト ISO タイプです。

1) 業種別サンプル品質マニュアルの場合は

今までお手伝いして取得された会社の品質マニュアルを一部修正して提供しています。
従って様々な方式を紹介したものではありません。該当する会社の 1 例だけです。

2) 自力認証取得セットに含む「汎用サンプル品質マニュアルの場合は、

どのような会社でも使用できるように様々な状況を想定して複数の事例を紹介しています。

現時点のものは下のようになっています。

表紙は、紙で配付する場合とパソコンLANを活用する場合の 2 事例

適用範囲の書き方は 4 事例

適用除外の書き方は 5 事例（適用除外する場合は正当とする理由を書くことが必要です）

文書管理では、紙媒体で配付する場合とパソコンを併用する場合の 2 事例

記録の管理では、紙で保管する場合と紙とパソコンを併用して保管する場合の 2 事例

インフラストラクチャでは、少ない場合と多い場合の 2 事例

作業環境では、建設業、食品工場、一般的な製造業の 3 事例

製品実現の計画では、機械装置製造業と土木工事業の 2 事例

顧客関連のプロセスでは、製造業と土木工事業の 2 事例

製造及びサービス提供では、機械装置製造業、土木工事業、倉庫業の 3 事例

製造及びサービス提供に関する妥当性確認では、溶接工程とサービス業の接遇工程の 2 事例

顧客満足度では、顧客満足度調査を行う事例とお客様から評価情報が届く建設業の 2 事例

データ分析では、集計表やグラフを作る事例と作らない事例の 2 事例

注意）改訂によって中味が変わることがあります。